

---

# ケータイの恋

こをり

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

ケータイの恋

### 【Nコード】

N2550N

### 【作者名】

こをり

### 【あらすじ】

私はただのケータイ

ですが愛して欲しいのです

こんにちわ私、ケータイです。

私の主人を紹介します。

とうない  
東内様です。

この人のケータイになって1年が過ぎようとしています  
大事に扱ってくれたので傷は少ししかありません

東内様の彼女様にストラップを付けると怒られていると  
ストラップなんてつけなくても綺麗だよ  
と彼女様に言っていました  
思わず赤面してしまいました。

当たり前ですが電話するとき東内様は私に近づきます  
心臓なんて無いのにドキドキします  
体が無いのに震えます（バイブじゃありません）

「マジでー！今から行くから俺のぶんもとつとけよ？」

ああ、意外と低い声が私を通して響く  
心地よい声です

東内様は私をポケットに入れて走ります  
あまり走らないください。汗をかいてしまいますよ？彼女様のと  
ころに行くのでしょうか？

・・・羨ましいなんて少しも思つてません  
私も人間なら、なんて醜い感情はありません  
大丈夫です、ケータイとしての立場はきちんとわきまえていますので

色々思索していると体に大きな衝撃

え?と思った瞬間私の体は宙を舞っていました

東内さまっ!.....気づいて!!

心から大声で叫んだのに東内様は走り去ってしまいました  
当たり前です。彼女様が待っているのですから  
私よりも優先なさるべき存在、なのでですから

ああ、ああ・・・東内様

この古いケータイをどうかお許してください  
誰も見ていない画面に『好き』と打ってしまいました事を深く反省  
しております

ですが、もう少しだけ残させてください

あなたが彼女様のお家から帰るまでには絶対に消去しておきますので

恋、好意、好き、LIKE

愛、愛情、愛恋、LOVE

お慕いしております、東内様

たくさん書いても埋まらないこの気持ち

神様、どうして私をケータイという機会に生んだのですか?

私だって、愛して欲しい

あ、犬様です

犬様は私をべろべろと舐めて臭いを嗅いでからくわえました  
あの、降ろしていただきたいんですが

え?

二度目の浮遊感。犬様が吼えてる  
降ろしてくださったのですね？ありがとうございます

「ん？これ・・・あいつの」

え？この声は東内様の彼女様の声

犬様が運んで下さったのですね！また今度きちんとお礼をしなければ・・・

さあ彼女様！ずうずうしいこと百も承知ですが東内様の所に！！

「・・・あいつ浮気とかしてないわよね？」

あ、か、勝手に開くなどプライバシーの侵害です！

でも逆らえる事も無く私は開いてしまった、ああ東内様申し訳ありません！

「・・・あーね」

何かあったのでしょうか？東内様は浮気をするような輩ではありませんよ！

しばらく私を凝視してからポチポチと何かを打ち出した

あいにく、私は閉じられてから中身を拝見できるのですが開いてる時は何も出来ないんです

彼女様が私をソファーに放り投げてどこかに行ってしまった

さて？何て打ったのでしょうか？拝見させて・・・ってきやあ！

「俺の携帯だあ！どこにあったの？すぐ戻って探したのに無かったからビックリしたわー」

東内様！やっとお会いできましたね！

懐かしい東内様の掌で安心してしているとパカツと開かれた

「……………！なーなーなにコレ？誰が打ったのー？」

はて？彼女様はなんと打ったのですか？

恋、好意、好き、LIKE

愛、愛情、愛恋、LOVE

お慕いしております、東内様

あたしだってアイツの事好きだったのー！！

(後書き)

感情の無いものの恋

一度は書いてみたかったです！下手な文章ですが意外と満足！

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2550n/>

---

ケータイの恋

2010年10月10日21時58分発行